



冬の味覚の王・松葉ガニを、
秘伝のだし汁で仕立て上げる名品。

創業は鮮魚店、やがて、とびきり新しい海の幸を食べさせてくれる料亭へと発展して「河本魚店」の現在がある。

季節の味を楽しみに、遠くからお客は訪れる。病院給食の仕出しや、法事などの催しの要請もある。つねに人の出入りが多く、目が回るように忙しい。そして大家族の河本家である。その多忙の渦のまんなかできりぎり舞いしているのが河本和子さんだ。

「毎日が、いっしょうけんめい過ぎていきます」

気温がぐっと下がる十一月ともなると、なんといつても冬の鳥取を代表する味覚の王・松葉ガニである。秘伝のだし汁で仕立て上げる名品は、根強い人気だ。

「休みですか、そうですね、元日ぐらいかしら」

ありがたいことだし、おいしいと喜んでもらえるのは、こんなうれしいことはないから、ちっともそれを辛いとは考えていない。ただし年に二回だけ特別ごほうびの休日がある。

シンガーソングライターで俳優でも人気の高い福山雅治の大ファンのだが、夫がそのライブに連れて行ってくれるのである。

その夫がいちばん喜んだのは長男のこと。小学校のときから漁に出るのが夢だったという彼が、河本魚店をずっと守っていきたくて明言した。そうとなれば、彼に「湯梨浜町に名店あり」の評価をさらに強固なものにして送り渡していかねば。がんばる。

河本魚店
河本和子



ゆ
う
ゆ
う、
ゆ
り
は
ま